

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '自立支援医療費給付事業' and '障害者福祉事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on medical care and administrative procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for medical services, beneficiaries, and outcomes from 2017 to 2020.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input and personnel numbers. Columns include 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), and 期間限定総投入量.

Table showing internal cost breakdown for 30年度 (実績) and 01年度 (予算). Includes categories like 14 使用料及び賃借料 and 20 扶助費.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes implementation details and a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	自立支援医療費給付事業	事務事業No.	10502000496	所属課	社会福祉課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
昭和24年、身体障害者福祉法の制定により実施。身体障害者に対するリハビリテーション医療の提供が目的であったが、医療制度の変遷により「医療費の自己負担を軽減するための制度」としての役割が強くなっている。平成19年4月から生活保護受給者の人工透析患者について、更生医療での決定と支払を優先するようになったことから、人工透析に関わる医療及び投薬代については更生医療で支払をすることとなった。平成25年度からは県からの権限移譲により育成医療の受付及び支払い等の事務を行う。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
対象者から更生医療を受けようと思っても、医療機関が「指定医療機関」でないために受けることが出来ない。また、県内の医療機関で当該医療を受けている対象者は、マル福による助成を受けている。育成医療も同様にマル福事業の該当者であり出生時からの対応になるため指定医療機関で受診していることがほとんどである。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	特に、県内の医療機関からマル福の適用外となる県外の医療機関に変更となった場合には自己負担が大きくなるので、そういったケースの状況を把握し、適切に案内をしていく必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	第2次総合計画の政策である「障がい者福祉の充実」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	障害者総合支援法に基づき、市町村がサービスを提供することとある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	マル福に該当している対象でも更生医療及び育成医療が優先されるので、申請してもらう必要がある。(マル福を適用させ、申請しないことがある。)
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	医療費の負担が大きくなり発生し、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	障害者総合支援法に基づく制度であり、他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	適正に対象者に支給決定することにより、事業費が適正に給付されると考える。人件費についても、障がい者が個々に抱える問題を解決するための相談等については職員の対応が必要であり、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	障害者総合支援法に基づいた負担額の設定である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	更生医療の決定者は年々微増傾向にあり、給付費が増えている。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
コスト																							
	削減	維持	増加																				
成果	向上			○																			
	維持			×																			
	低下			×																			
対象疾病は、人工透析が主であり、人工透析に移行しないための予防対策が必要で、重症化しないことが重要である。		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果	③																				
		コスト削減優先度評価結果	-																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>